

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成20年6月26日(2008.6.26)

【公開番号】特開2005-319308(P2005-319308A)

【公開日】平成17年11月17日(2005.11.17)

【年通号数】公開・登録公報2005-045

【出願番号】特願2005-136236(P2005-136236)

【国際特許分類】

A 6 1 C 7/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 C 7/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年5月9日(2008.5.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

歯科の治療及びカリエスにより、隣り合う歯の間にあいた空洞の修復に使われる歯科用くさびで、三角形の断面と、基底面と側面で形成される丸みを帯びた突合せ稜と、丸みをつけた先端で終わる自由端とを有するものである、

くさび本体(1)が先端(2)と反対の端で円錐台形あるいは角錐台形の、末端片(6)に移行し、この末端片には歯科用の把持用の器具に係合する面が作られ、

上記末端片(6)は、くさび本体の上記先端(2)と反対側の端と連続する小径部から平端面を有する大径部へと拡張され、

上記末端片(6)の大径の平端面には、軸方向に配置された止まり穴(9)が形成され、該止まり穴(9)はくさびを歯科用の把持用の器具で掴むために用いられることを特徴とする歯科用くさび。

【請求項 2】

請求項 1 による歯科用くさびで、円錐台形あるいは角錐台形の末端片(6)の大径の平端面に接続する立法体形の台(7)を有し、この台には止まり穴(9)が貫通してなることを特徴とする歯科用くさび。

【請求項 3】

請求項 2 による歯科用くさびで、上記台(7)の少なくとも1つの側面(8)は、把持器具に係合する第2の係合面として、凹面状に内側に湾曲してなることを特徴とする歯科用くさび。

【請求項 4】

請求項 3 による歯科用くさびで、上記台(7)の側面(8)の第2の係合面は、波形の起伏を付けられてなることを特徴とする歯科用くさび。

【請求項 5】

請求項 2 による歯科用くさびで、歯科用の把持用の器具に係合する係合面として、少なくとも2つの互いに向き合う側面(8)にくぼみ(10)が付けられてなることを特徴とする歯科用くさび。

【請求項 6】

請求項 1 による歯科用くさびで、上記くさび(1)は長い第1くさび部分(1a)と、丸みを帯び上向きに反った先端(2)へと延長する短い第2くさび部分(1b)を有し、

基底面（３）と側面（４）の突合せ稜（５）は、第１くさび部分（１ａ）では互いに並行して延び、第２くさび部分（１ｂ）になって初めて、互いに接近しつつ自由端の上向きに反ったくさび（１）の先端（２）に向かって延長することを特徴とする歯科用くさび。

【請求項 ７】

請求項 １ による歯科用くさびで、くさび（１）の基底面（３）と側面（４）の突合せ稜（５）は傾斜（２１）してなることを特徴とする歯科用くさび。

【請求項 ８】

請求項 １ による歯科用くさびで、くさび（１）の基底面（３）は光を反射する模様が施されてなることを特徴とする歯科用くさび。

【請求項 ９】

請求項 １ による歯科用くさびで、くさび（１）の基底面（３）は猫目状の光を反射する模様が施されてなることを特徴とする歯科用くさび。

【請求項 １０】

請求項 １ による歯科用くさびで、くさび（１）が熱可塑性の透明なプラスチック（エラストマー）でできていることを特徴とする歯科用くさび。

【請求項 １１】

請求項 １ による歯科用くさびで、くさび（１）の全体あるいは一部が薄く着色され、くさびサイズを色分けしていることを特徴とする歯科用くさび。

【請求項 １２】

歯科用くさびであって、

丸みをつけた先端（２）と、

上記先端（２）に接すると共にそこから延長する第１端部と、第２端部とを備え、略三角形の断面を有する第２のくさび部分（１ｂ）と、

凹面で内側に湾曲する基底面（３）と

凹面で内側に湾曲する第１側面（４）と、

凹面で内側に湾曲してなり、上記基底面（３）と第１側面（４）と共に第１くさび部分（１ａ）を形成する第２側面（４）と、

上記基底面（３）と第１側面（４）が交わる角に形成される丸みをおびた第１突合せ稜（５）と、

上記基底面（３）と第２側面（４）が交わる角に形成される丸みをおびた第２突合せ稜（５）と、

を備え、

上記第１くさび部分（１ａ）は、上記第２くさび部分（１ｂ）の第２端部に接する第１端部と、第２端部とを有し、サーベル状に上向きに湾曲してなり、

上記第１くさび部分（１ａ）は長く、上記第２くさび部分（１ｂ）は短く形成され、

上記基底面（３）と２つの側面（４）との角にそれぞれ形成される上記第１突合せ稜（５）と第２突合せ稜（５）は、上記第１くさび部分においては互いに並行して延長し、第２くさび部分（１ｂ）においては互いに接近しつつ、くさび（１）の丸みをおびた自由端の上向きに反った先端（２）に向って延長し、

上記くさび（１）は上記先端（２）と反対側の端で円錐台形あるいは角錐台形の末端片（６）へ移行し、

上記末端片（６）は、上記第１くさび部分（１ａ）の第２端部と連続する小径部から、平端面を有する大径部へと拡張され、

上記くさび（１）は、大径の平端面に接する第１端部と、第２端部とを有する台（７）と、

上記台（７）の第２端部に形成され、上記末端片（６）に向って延長し、上記第１くさび部分（１ａ）の縦軸に沿うように形成される袋状の凹部（９）とを備え、

上記凹部（９）は把持用の器具によって上記くさび（１）を掴むために用いられ、上記把持用の器具は上記袋状の凹部（９）の内側面に係合することを特徴とする歯科用くさび